

平成22年11月25日
筑波大学

嘉納治五郎先生像設置及び除幕式について

本年（2010年）は、嘉納治五郎先生の生誕150周年に当たり、筑波大学において嘉納先生の偉業を称え今日の時代に適した形で、その功績や理念を継承するとともに、国内外における筑波大学の存在感を高め、筑波大学としての一体感や気概を醸成し、本学をより一層発展させるため様々な記念事業を開催してまいりました。このたび筑波大学では、嘉納先生生誕150周年事業の一環として、前身校である東京文理科大学、東京教育大学の同窓に親しまれてきた肖像彫刻を本学筑波キャンパス（大学会館前広場）にも設置し、合わせて以下のとおり除幕式を執り行うこととしました。

嘉納先生は、高等師範学校ならびに東京高等師範学校の校長として、1893年から1920年までの間、3期にわたり通算23年半在職されました。嘉納先生の創設した「柔道」は世界的スポーツになっていることはご承知のとおりですが、スポーツだけに限らず先生は「精力善用・自他共栄」の理念にもとづいて、高等師範学校の改善、中等学校・高等女学校の充実などの教育改革を行い、師範学校不要論に対して修業年限増加の必要性を説き、大学昇格への布石を打つなど、本学及び我が国の高等教育に深く関わりのある活動を展開されています。また、100年以上前に中国から8,000人以上の留学生を受け入れ、有為な人材を育成するなど、留学生教育を推進し、国際交流に努め、教育者としても偉大な業績を残されています。

銅像の製作者

文化勲章受章者で我が国を代表する彫刻家朝倉文夫氏（1883－1964）が像主の喜寿を記念し、1936年（昭和11年）に原型制作したものです。

（現在、同じ銅像が本学東京キャンパスと柔道の講道館に設置されています。）

銅像設置場所 大学会館前広場

銅像の大きさ 高さ214.0cm × 幅74.0cm × 奥行72.0cm（銅台座含み、石台座を除く）
（石台座 高さ100.0cm × 幅94.0cm × 奥行94.0cm）

銅像の費用 筑波大学基金（嘉納治五郎生誕150周年記念事業）

除幕式 平成22年12月10日（金）13:30～14:00
嘉納治五郎像設置の経緯、学長挨拶、来賓挨拶、除幕、像の鑑賞、記念撮影 等